

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [労働安全衛生](#) | [安全衛生活動のキーワード②「たばねの知恵」で災害防止](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

安全衛生活動のキーワード②「たばねの知恵」で災害防止

人間は未完の利器です。

未完を補う「相互に補完しあう」が必要です。相互に声を掛け補い合う活動です。

単に「注意すればよい」という「注意声かけ」ではありません。

相互補完の声掛け活動は、仲間を「たばね」で力を発揮する「たばねの知恵」で災害撲滅を図ろうというものです。

「たばねの知恵」とは、

毛利元就の三本の矢の逸話に由来します。

一本の矢は、簡単に折れる。しかし三本になると簡単には折れない。当然、一本の矢の3倍の力を持っているから。ところが、この三本の矢をうまくよじり「束ねる」と、一本の矢の3倍よりも、もっと強力な力に変身することが実証され

ています。

何と！ 3.5倍の力になるということです。 英知・衆知を集めるとは、このこと言います。

補完性とは

会社と労働組合が、労働者同士が、組織と個人の足らざるを補い、支え合い、知恵を出し合って「今日の最高を明日の最低に」という意欲で、知識・行動を具体化していくことです。

1. 自助⇒自己確立、自らの力で解決する。
 2. 共助⇒職場の仲間と共に、協力し合い・声掛けあってサポートする。
 3. 公助⇒組織（会社・組合）の力を発揮し、課題・問題を解決する。
- そして、家庭の互助により、英気と活力を養うのです。

このような「相互作用」は、コミュニケーションによる「つながり・絆」が職場になければうまくいきません。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's広場](#)[関連リンク](#)